

# JFM だより

## Vol.19

### INDEX

融資の実	北海道上川郡東川町 東川町立東川小学校	P01
	がんばる公営競技 ポートレース平和島	P05
	自治体ファイナンスよもやま話	P07
	地方支援ダイアリー	P09
	基金運用ひとくちメモ	P11
	人事交流日記&ふるさと紹介	P13
	編集後記	P14
	機構からのお知らせ	P15
	私たちもJFM債買ってます！	P15

### 今号の表紙

# 北海道上川郡東川町 東川町立東川小学校





Feature

北海道上川郡東川町  
東川町立東川小学校



# コミュニティ施設を併設した 地域ぐるみで子どもたちを育む小学校

東川小学校の建設は、単なる校舎の建替えではなく、新たな敷地に小学校とコミュニティ施設である地域交流センターを複合化し、また、サッカー場、野球場、体験農園、プレイパークなどを備えた東川ゆめ公園と一体的に整備することによって、町の将来を担う子どもたちを地域ぐるみで育成しようという考えに基づき計画されました。



開放的な教室



小学校と隣接する軟式野球場、サッカー場、多目的広場

## 118年の歴史を誇る学校の建替え事業

東川小学校は、全校児童350人(平成28年8月31日現在)、明治31年に開校した118年の歴史を誇る小学校です。

旧東川小学校は、昭和34年・35年に建築された校舎の増改築を繰り返しながら、現在地に移転する平成26年までの55年間にわたり、学び舎として利用されてきましたが、校舎の老朽化に伴い、平成20年に東川小学校等建築検討委員会が設置され、建替えが検討されました。地域住民等へのアンケート調査や先進地視察等が行われ、学校の全面移転及び地域交流センターを併設する複合施設とすることが決定し、平成23年3月に北海道大学工学研究院都市地域デザイン学研究室の協力を得て、東川小学校等基本計画が策定されました。その後、平成24年11月に工事を着工し、平成26年3月に完成。その後、校舎の備品等の整備を行い、同年10月1日に新東川小学校が開校しました。

## 地域交流センターや広大な公園を併設

東川小学校の敷地は約4ヘクタール、地域交流センターや一体となった東川ゆめ公園を含めると約16ヘクタールという広大な施設となっています。

「教育は、学校だけで完結するものではなく、住民の方々にも気軽に参加していただいて、地域全体で子どもを育てる、

応援するという雰囲気をつくり出すことが大切です。東川町は子どもからお年寄りまで自然に挨拶を交わしたり、声を掛け合ったりする人々のつながりが深い町です。そうした地域特性を活かした東川町らしい施設をつくりたいと考えました。」(東川町教育委員会・杉山昌次学校教育課長/「」内のコメント以下同)

敷地の周囲には塀などの垣根をつくらず、小学校のグラウンドに接した公園にある人工芝のサッカー場や軟式野球場、天然芝の多目的広場は、一般の人々も利用しています。その他にもプレイパークや体験農園、果樹園があり、子どもたちを中心に様々な活用されています。

校舎の隣にある地域交流センターには、交流プラザや多目的ホール、学童保育施設があり、「児童が放課後に地域交流センターの学童保育施設へ行って宿題をしたり、ここからスポーツ少年団活動に出向いたりします。学校、公園、コミュニティ施設とそれぞれに垣根をつくってしまうのではなく、一体的に整備することで子どもたちに自由に、伸びやかに使ってもらう。そこに大人も積極的に参加することで地域で子どもたちを育むという考え方がここにはあります。」



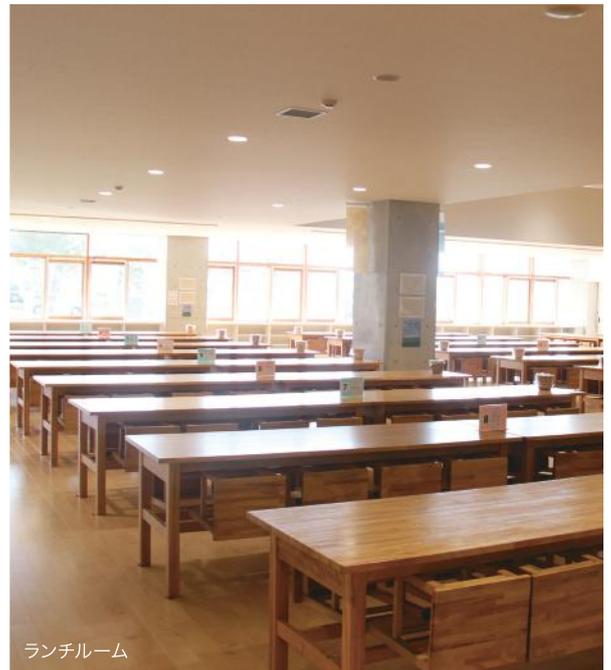
地域交流センター・交流プラザ



体育館



可動式の棚



ランチルーム

## 災害時には住民の避難所として機能

垣根をつくらないオープンな施設づくりの発想は校舎にも活かされています。各教室と廊下を隔てる壁をなくし、可動式の棚で様々な空間をレイアウトすることができます。また、広々としたランチルームでは、全校児童と教職員と一緒に給食を食べます。この時には1年生から6年生で縦割り班をつくって、各学年が交流できるように工夫されています。

「あえて北側に大きな窓や明かり取りを配置することで、やわらかな光を採り入れて、開放的な空間をより心地よくしています。また、夏場の暑さも抑えられます。北海道は太陽角が低いので、南側に窓を大きく取ると直接光が目に入りやすく

授業の妨げになります。」

設備面では、環境配慮型電化システムである空気式のヒートポンプを採用しています。二重床を活かした床下空調方式により、夏にはトレンチを介した外気誘導による涼風を送り、冬にはヒートポンプによる暖房と同時に躯体のコンクリートに蓄熱させ、輻射作用による穏やかな熱環境をつくることで校舎内を快適に暖める省エネシステムになっています。

新東川小学校は、旧東川小学校の老朽化に伴う耐震化のための立替えを目的として建設されました。災害時には住民の避難所として機能するため、50kWの太陽光発電システムや蓄電施設、ディーゼル発電機による発電装置室など、災害に備えた設備を有しています。これらの整備の財源には緊急防災・減災事業債が活用されています。



北側の窓から射し込むやわらかな光



太陽光発電パネル

## 地元の木材をふんだんに使った校舎

「東川町は木材が豊富で家具づくりが盛んな町です。校舎も地元産の木材にこだわり、床は樺材のフローリング、窓枠の内側には唐松材を使っています。また、児童の机や椅子をはじめ、各施設の棚やテーブルも地元の木材で作られたものです。さらに校舎内には、地元アーティストの手工芸品が飾られ、温かみある雰囲気を出しています。」

校門には、イタリアを拠点に活動する彫刻家、北海道出身の安田侃(やすだ かん)氏の作品『帰門』が置かれています。「子どもの頃から本物を見て、本物に触れる体験は大切なことです。『帰門』という作品には、子どもたちがこの小学校を卒業して、たとえ他の地域へ行っても、ふるさとである東川町にいつか戻ってきてもらいたいという願いが込められています。自分たちが地域の人々にお世話になったように、今度は自分が東川町の力になりたいという卒業生が増えてほしいと思います。ここは子どもたちを育むとともに、地域の未来を育む小学校です。」



地元産の木材を使った机や椅子



地元アーティストの手工芸品



安田侃氏の作品「帰門」

## 「写真の町」宣言から31年。水と美しい自然に恵まれた東川町。

北海道上川郡東川町は、旭川市の南隣。上川郡東神楽町にある旭川空港から約7kmという位置にあります。東部は山岳地帯で大規模な森林地域を形成しています。また、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」の玄関口で、観光地として人気のある北海道最高峰「旭岳」(標高2,291m)や原生林に囲まれた旭岳温泉、落差約270mの「羽衣の滝」を擁する天人峡温泉周辺では、高山植物の花々、新緑の森、色とりどりの紅葉、幻想的な雪景色など四季折々の美しい風景を楽しむことができます。

東川町は全国的にも珍しく、北海道でも唯一の上水道の無い町です。大雪山連峰からの雪解け水が長い年月を経て地中にしみ込み、伏流水として東川町へ運ばれ、この良質で美味しい自然水を生活水として利用しています。町内にある「大雪山旭岳源水」は、豪快に湧き出る源水を取水できる名所となっています。

そうした水資源に加え、肥沃な土壌を活かし、道内随一の米どころとしても有名で、道内で初めて地域団体商標に登録さ

れた「東川米」を生産しています。また、木工クラフトが盛んで、旭川家具と呼ばれる家具の生産工場や工房の約40%は東川町にあります。

東川町は、昭和60年に「写真の町」を宣言し、平成26年に「写真文化首都」を宣言しました。その被写体となる自然や町の景観を大切にするとともに、伝統ある「東川町国際写真フェスティバル」をはじめ、高校生による大会「写真甲子園」や海外11か国の高校生が参加する「高校生国際交流写真フェスティバル」といった独自のイベントを開催しています。さらに、地域の子どもたちを対象にした「写真少年団」の活動や地域住民による写真に撮って美しいと感じられる地域づくり活動など、写真文化の中心地として「世界中の写真、人々、そして笑顔に溢れる町づくり」に取り組んでいます。



大雪山旭岳源水



東川町国際写真フェスティバル

### 北海道上川郡東川町

人口 8,116人(平成28年6月末現在)  
世帯数 3,694世帯(平成28年6月末現在)  
面積 247.06km<sup>2</sup>



Introduce

# ボートレース平和島



## 交通アクセスに恵まれた 東京都内初のボートレース場

レース風景

がんばる  
公営競技

## 自治体や地域住民に貢献する公営競技

### 東京都内最古の歴史あるボートレース場

ボートレース平和島のある大田区平和島は、昭和14年頃に誕生した人工島です。昭和29年6月に東京都により都内初となる大森競艇が開催されましたが売上が伸びず、翌年には開催を中止してしまいます。同年、都に代わり府中市が開催権を得て、9月に初開催、以後現在に至るまでボートレース平和島で競走事業を続けています。

昭和35年の『第6回全日本モーターボート記念競走』の開催では、出場選手を人気投票で決める方式でレースを盛り上げ、昭和41年には競艇界初となる『総理大臣杯～第1回鳳凰賞競走～』を開催しました。好景気に沸く平成3年にはSGレース『第6回賞金王決定戦競走』を開催し、1日売上121億円余、1レース売上48億円余という本場の売上記録を打ち立てました。「ボートレース平和島は、その歴史とともに、プロスポーツとして魅力あるボートレースの確立に寄与してきました。また、最もグレードの高いSG競走の開催が多いのも特徴です。」(府中市事業部庶務課・岡村耕課長補佐/「」内のコメント以下同)

### 新幹線や空港からもアクセスしやすい 利便性に優れた立地

ボートレース平和島は、品川や川崎、横浜といった都市部に近く、開催日にはJR京浜東北線大森駅や京浜急行線平和島駅から無料送迎バスを運行しています。首都高速道路などの幹線道路からも来場しやすく、交通アクセスに優れています。

また、隣接する地域で施設会社が運営する総合レジャー施設『BIG FUN 平和島』には、レストラン、天然温泉、ゲームセンター、映画館、ボウリング場、カラオケなどの施設が集まります。このエリア帯は総称して『レジャーランド平和島』と呼ばれて、ボートレース平和島の魅力のひとつとなっています。「ボートレース以外にも様々な娯楽施設や飲食店などがあるので、ご家族で一日楽しむことができます。また、新幹線の発着する品川駅や東京国際空港(羽田空港)からもアクセスしやすいので、大きなレースの際には遠方から訪れるお客様も多く見受けられます。ボートレース平和島は立地条件に恵まれ、全国の中でも比較的来場者の多いボートレース場と言えます。」

### 全国に先駆けインターネット投票を導入

平成2年度に年間1800億円余の売上を記録したのをピークに、バブル経済崩壊後の景気低迷に連動し、厳しい経営状況が続きます。経営改善の具体策として開設したのが『ボートピア河辺』(秋田県/平成7年開業)、『ボートピア横浜』(神奈川県/平成19年開業)、『ミニボートピア黒石』(青森県/平成21年開業)、『オラレ上越』(新潟県/平成24年開業)といった府中市の専用場外発売場です。これらはボートレース平和島を中心に、他場の舟券も発売しており、広域発売の実施により売上を伸ばしていくことを目指しています。平成22年には敷地内に外向発売所『ボートレース平和島劇場』を開設したことにより、現在では1日最大8場、96レースの発売が可能となり、本場開催のない日でも賑わいを見せています。



ボートレース平和島劇場内観

ハゼ釣り大会

指定席(シングルシート)

指定席(ペアシート)

今回は、東京都府中市が運営するボートレース平和島をご紹介します。ボートレース平和島の歴史は、昭和29年に初開催された東京都営大森競艇に始まり、翌年に府中市が東京都から引き継ぐ形で府中市営大森競艇を開催し、平和島競艇、ボートレース平和島と名前を変え、現在に至ります。今では、レジャーランド平和島として周辺商業施設の『BIG FUN平和島』と合わせて、ご家族連れにも親しみやすいボートレース場となっています。

「本場への来場を増やす努力とともに、時代に合わせた様々な舟券の買い方を提供すべきではないかという考えから平成13年には全国で初めてインターネット投票を導入しました。現在、電話やインターネット投票で平和島の舟券を購入するとポイントのたまる『平和島 de ポイントクラブ』の会員数は2万人を超えており、これらの投票方法による売上は全体の概ね30%を占めています。」

また、発売場やシステムの整備が進んでもレースそのものに魅力がなければ売上向上につながらないとして、女子選手を中心にしたレースや選手の所属支部対抗戦、勝ち上がり方式の『ファン感謝3Days BOATRACE バトルトーナメント』など、一般戦においても特徴のある企画レースを実施しています。

## 60年以上に渡り府中市財政へ寄与

ボートレース平和島は初開催から平成27年度まで長年にわたり収益確保を続け、府中市の財政に寄与してきました。この収益金は、文化施設などの公共施設、道路や下水道などの整備や改修のための財源として活用されてきました。「ボートレースは収益事業であり、市財政への貢献は責務であると考えています。また、地域交流ということで、毎年ボートレース場を会場としてゴムボート大会やペアボート大会、ハゼ釣り大会などを開催し、地元の子供たちに楽しんでもらっています。この水面は東京湾につながっているため、エイやカニ、スズキやボラなどの姿も見るすることができます。」

## SNSの積極活用により若いファンを開拓

お客様に快適に過ごしていただけるように施設会社と協力しながら施設改修を段階的に進めています。近年では、入場門のリニューアルをはじめ、テレビ映像のハイビジョンデジタル化、コース対岸の大型映像装置の更新、多目的トイレの設置、施設の耐震化などにも取り組んでいます。

「コンパクトで快適な施設整備とともに、若いファンを開拓することもこれからの大きな課題です。そのためホームページやブログの充実はもちろん、ツイッター、フェイスブック、LINEなどSNSを活用した情報発信にも力を入れていきます。2020年には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されますが、それに合わせて平和島を訪ねてくれる外国人が増えれば幸いです。」



リニューアルされた入場門

マスコットキャラクター「ピースター」▶

# 岩手中部水道企業団の 資金運用方針及び人材育成について



自治体ファイナンス・アドバイザー

浜村 隆

今回は岩手中部水道企業団の効率的な資金運用の取組みについてご紹介いただきました。今回は、このような取組みの鍵となる資金運用方針の策定や、資金運用を担う人材の育成などについて解説していきます。



## 資金運用の方針及び戦略

Point.1

資金の運用に当たっては、まずその対象として運用可能な資金がどこにどれくらいあるか、そしてどの程度の期間運用が可能かという点の見極めが最初のステップとなります。次に、これを踏まえて、対象となる資金をどのように運用していくかについての方針を策定することになります。自治体の資金運用において、まずは運用元本の保全が求められることとなりますが、一方で、運用益確保のための工夫も必要と思われれます。資金運用に伴うリスク（信用リスクや価格変動リスクなど）を回避しながら、一方で運用益を上げるという、相反する課題にいかに対応していくかといった点が運用方針に盛り込まれていくこととなります。

運用方針において、資金運用全体の枠組みと方向性が明確になれば、次のステップとしては、これを踏まえて、運用戦略を検討し、この戦略に基づいて資金運用を実行していくこととなります。具体的には、この運用戦略に見合う金融商品を選び出し、それによる資産ポートフォリオを構築していきます。また、その後も、このポートフォリオを適切に維持していくことが求められます。

岩手中部水道企業団では、長期の資金計画において、平成50年代から設備更新投資のピークを迎えるという前提の下、資金の運用期間は30年以内と決めました。また、運用商品としては、信用リスクや流動性リスク（換金リスク）を踏まえて、国債の他、地方債や地方金融機構債などに絞り込みました。ここで、国債に加え地方債や地方金融機構債などを加えたのは、これらの債券の利回りが対国債のスプレッド（上乗せ幅）に相当する分高くなっており、資産ポートフォリオ全体の運用利回りの向上に資する、という点を踏まえたものでした。

このような形で、同企業団は運用方針に基づき、これ

を実行するための運用戦略を定めました。具体的には、現状の金利情勢を踏まえて、短期債と長期債を中心に保有するバーベル型（ダンベル型）運用（内容については図1ご参照）を採用しました。また、運用益の向上をねらい、ロールダウン効果（内容については図2ご参照）を利用した保有債券の中途売却にも取り組んでいます。

## 人材育成などの組織的対応

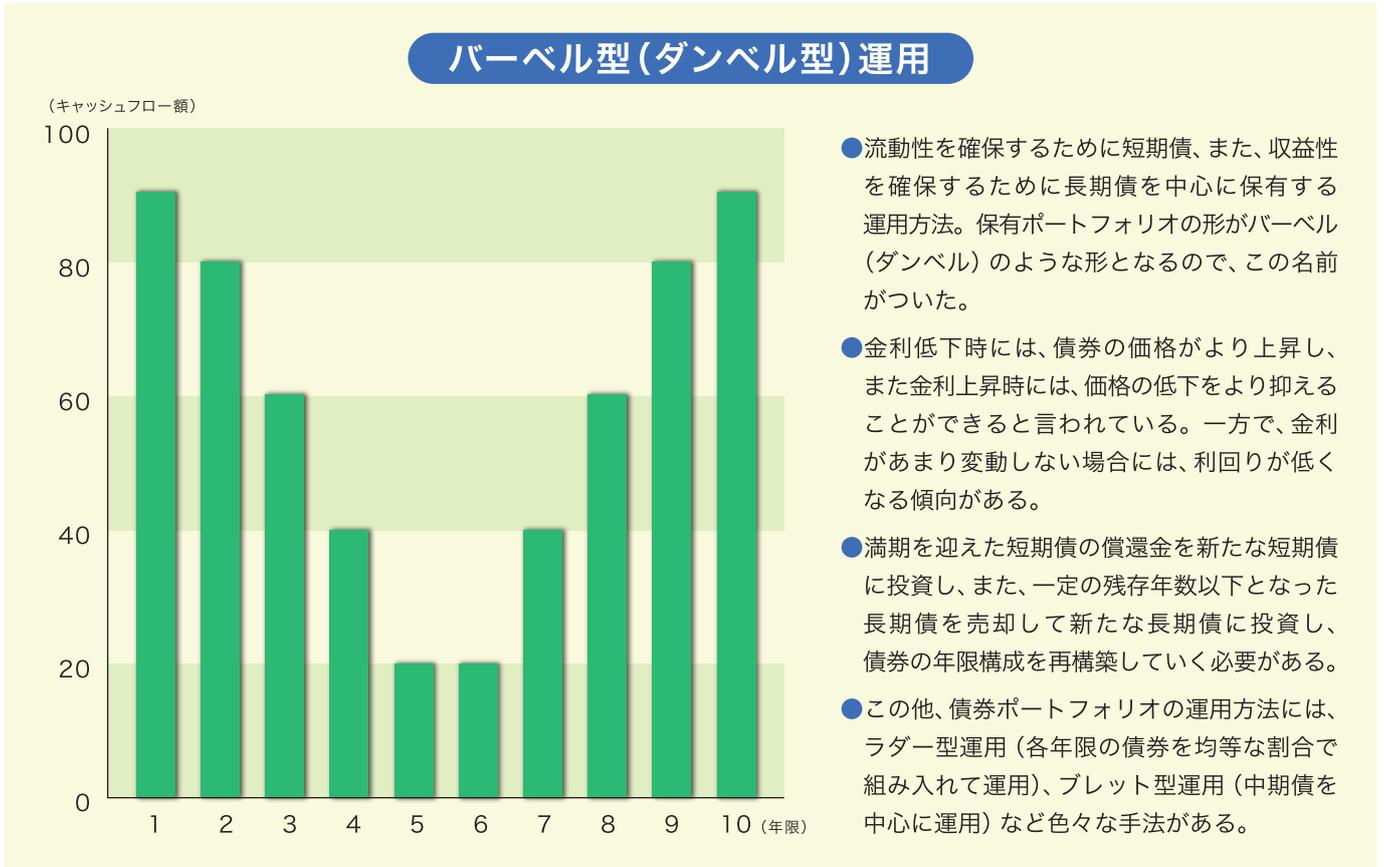
Point.2

運用方針に基づき、実際の運用実務を担っていくのは、担当の職員になります。定められた運用方針と運用戦略を踏まえ、的確な運用実務を行っていくために、担当の職員は運用に関する専門知識を習得し、また経験を積んでいくことが重要となります。この観点から、担当の職員に対して、定期的に専門的な知識の習得の機会を与えることは組織的対応の一つとして大切と言えます。

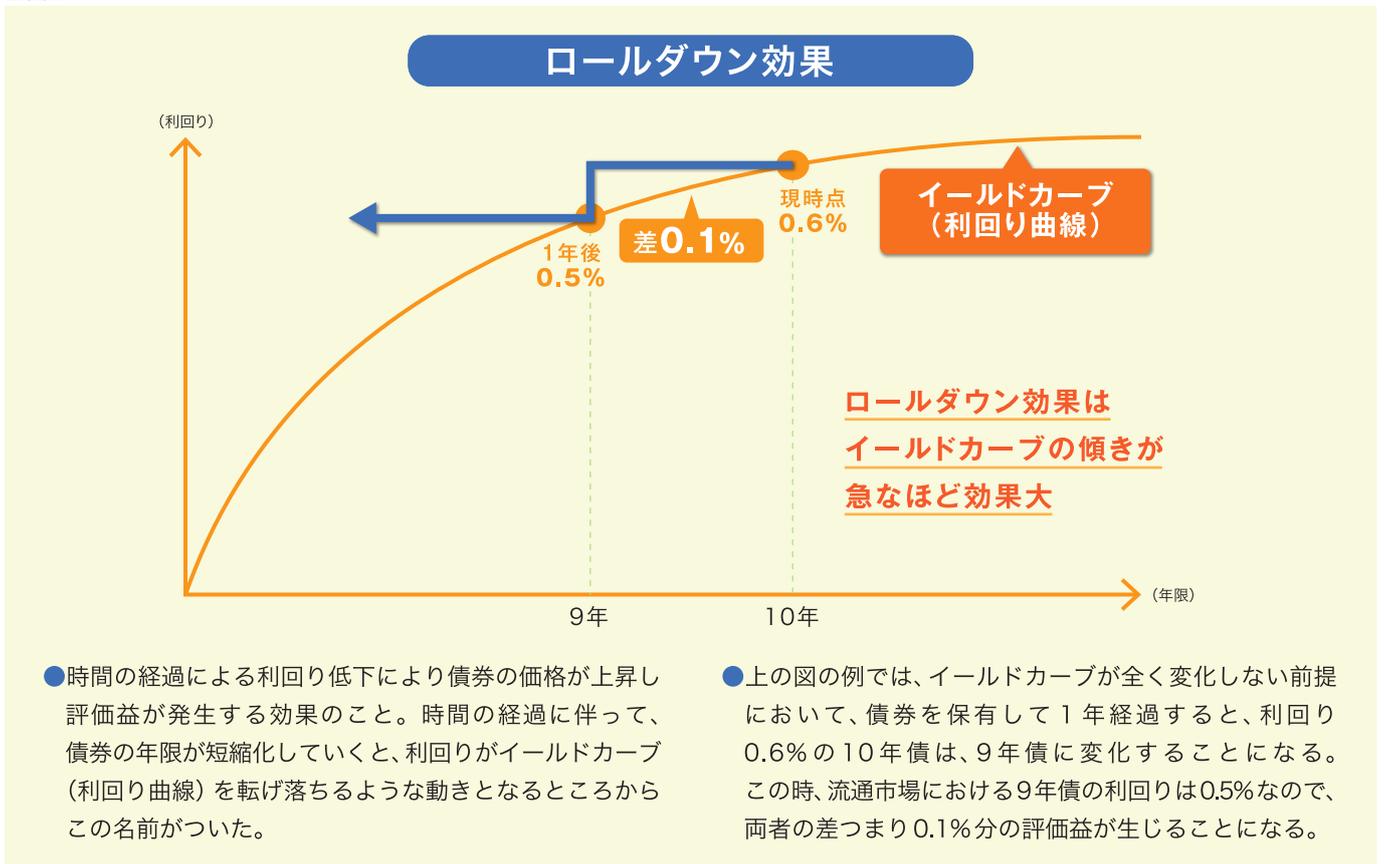
一方で、直接担当する職員だけに長年にわたりノウハウが蓄積されていくという状況になれば、同職員による独断専行のリスクが生じてくる可能性も否定できません。このような状況を避けるため、また、資金運用が重要な業務であり、組織全体の総意に基づき遂行されているということを明確にするために、担当課の全職員及び最終権限者のライン全員を含めて、運用に関する情報（運用方針・運用戦略、ポートフォリオの状況、市場動向など）を定期的に共有していくことは重要と思われれます。

同企業団では、職員を機構や証券会社による外部研修に派遣しています。また、内部では、地方監査会計技能士による研修を定期的に行うといった形で人材育成に努めています。この他、日々の市場情報を職員全員で共有しながら相場観を醸成する、そしてより良い投資判断を目指していく、といった試みも継続しています。

■ 図1



■ 図2



お手伝いします!



地方支援ダイアリー vol.19

地方支援を利用してみよう!

私達、地方支援部では地方公共団体の資金調達等のサポートを通じて、皆様のお役に立てるよう日々研鑽しています。

今回は、平成28年8月4日に開催した「第3回地方公共団体ファイナンス表彰」及び「第2回地方自治体財政セミナー」についてお伝えいたします。

## 第3回 地方公共団体ファイナンス表彰

地方公共団体全体の「より良い資金調達・資金運用」に資するため、平成26年度に創設しました「地方公共団体ファイナンス表彰」も本年度で第3回となりました。

平成28年8月4日に第一ホテル東京において、今年度の受賞団体である滋賀県大津市への表彰式が行われました。(第2回 地方自治体財政セミナーと一体で開催しました。)

大津市では、資金管理プロジェクトの設置、資金調達・資金運用管理方針の策定、毎週の金融レポートの作成や毎日の

主要マーケット情報の課内掲示などによる職員の金融リテラシーの向上、超長期債の購入・売却による運用収入向上等、総合的な取組みがなされたことが評価されました。

大津市からは、「大津市企業局 資金管理プロジェクト〜この1年でできたこと〜」として、取組内容について発表いただきました。詳細は当機構ホームページに掲載しておりますので、併せてご覧ください。

- 挨拶(瀧野欣彌 地方公共団体金融機構理事長)
- 表彰式・事例発表(滋賀県大津市)



## 第2回 地方自治体財政セミナー

自治体財政に関する喫緊の課題であるテーマを取り上げ、制度を所管する関係省庁や先進的な取組みを行っている自治体からの報告、有識者の視点等からの講演を実施することにより、地方自治体の人材育成等の支援を行うため、本年度から「JFM地方自治体財政セミナー」を開催しています。

第2回は、平成28年8月4日に第一ホテル東京において

開催し、83名の出席を得ました。(第3回 地方公共団体ファイナンス表彰と一体で開催しました。)

セミナーでは、吉川浩民総務省自治財政局地方債課長から「最近の地方債制度について」として、平成28年度地方債計画の概要、地方債資金等についてご講演いただきました。詳細は当機構ホームページに掲載しておりますので、併せてご覧ください。



## 出前講座でスキルアップ!

出前講座は、開催時間・内容・場所などについて、地方公共団体の要望に応じて講師(自治体ファイナンス・アドバイザー等)が出張して行う「オーダーメイド型の講座」です。

時間や目的に合わせてテーマをお選びください。近隣市町村が集まる会議や勉強会などでの1コマとしてご利用いただくことも可能です!



### 出前講座の特徴

- 講師旅費/謝金は必要ありません
- 講義内容はご要望に応じて調整します
- 開催日程や時間はご希望に合わせて調整します
- 受講人数の多少は問いません
- 何回でもご利用いただけます

## 困ったときは・・・実務支援!

個別の課題には、金融の専門知識や実務経験を有する自治体ファイナンス・アドバイザーが、地方公共団体の資金調達等における課題や疑問の解決に向け、専門的なアドバイスを提供します。

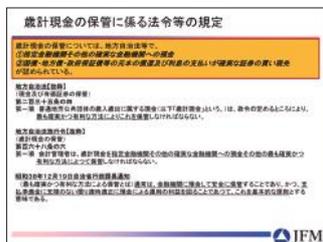
電話、メールでの相談はもちろん、ご希望に合わせて訪問します!



## お役立ち情報

### 実務・学習用テキスト

各種研修会で使用したテキストを提供しています。また、自主学習のための学習用テキストも提供しています。



### お役立ちレポート

地方公共団体の皆さまから寄せられた相談事例、トピックについて、実務に役立つ内容をレポートにまとめて紹介しています。



### 主要経済指標データ

金融動向の判断材料として景気・雇用・国際収支・生産・消費物価の主要経済指標と、株価・為替・金利の推移グラフを定期的に更新しています。



### Eラーニング

ホームページにて動画を視聴する形式で、効率的な資金調達等に必要となる金融・債券の基礎知識が学べます。(30分程度)



お問い合わせ・お申込みはこちら **地方公共団体金融機構 地方支援部**

TEL | 03-3539-2676 (調査企画課)

03-3539-2677 (ファイナンス支援課)

HP | <http://www.jfm.go.jp/support>

Mail | [chihoushien@jfm.go.jp](mailto:chihoushien@jfm.go.jp)

# 金利の決めり方について

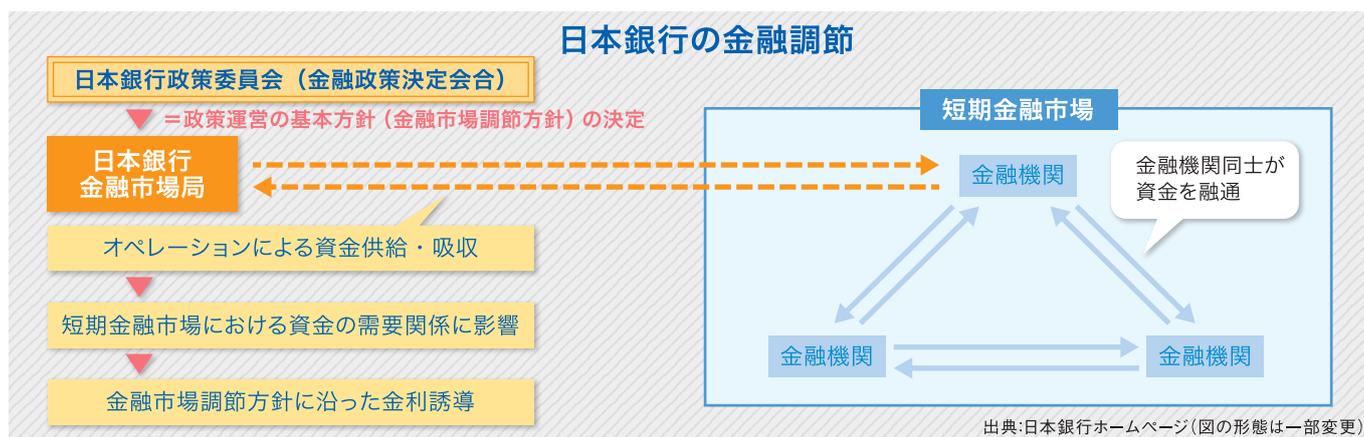
- ☑ 満期までの期間が1年未満の金利を短期金利、1年以上のものを長期金利と呼びますが、短期金利と長期金利では金利の決めり方が異なります。
- ☑ 短期金利は日本銀行の金融調節によってほぼ決まります。
- ☑ 長期金利は短期金利の影響も受けますが、人々の将来への予想により決まる部分が多いのが特徴です。長期金利についても日本銀行の影響は小さくありません。

## 短期金利の決めり方

短期金利は翌日物（オーバーナイト）から始まります。翌日物の金利を考える場合、インフレやデフレの影響はほとんどなく、市場における資金量で金利は決まります。翌日以降についても、翌日+1日後・・・+n日後と増えていくにしたがって、市場参加者のインフレ予想など誤差となる要素が増えていきますが、1年程度であれば、その差はさほど大きくありません。したがって短期金利については日本銀行の金融調節によってほぼコントロールできると言えます。

**短期金融市場（期間1年未満の資金や金融商品を取引する市場）で資金が余剰であれば金利低下要因となり、資金が不足すれば金利上昇要因**となります。

日本銀行は、政策委員会・金融政策決定会合において決定される金融市場調節方針に基づき、日々の短期金融市場の過不足を調節（金融調節、オペレーション）することで、短期金利の水準をコントロールしています。



## 長期金利の決めり方

長期金利は、以下の要因で決まると言われています。

### 期待インフレ率

将来の物価変動（インフレ、デフレ）の予想のことです。  
過去のインフレ率の推移や日本銀行の施策に対する信認などがこの予想に影響します。  
物価上昇率2%の目標値を示すことで日本銀行は人々の予想するインフレ率を変化させる狙いもあったと言われています。

+

### 期待実質経済成長率

インフレなどの影響を除いた将来の経済成長率の予想のことです。  
経済成長率は景気の波に左右されますが、長い目でみれば、その国のもつ潜在的な成長率に近い値になると言われています。  
生産性の向上などにより経済がこれから成長していくと人々が思えば、投資するメリットが高まります。長期の資金需要も増えていき、長期金利は上昇することが見込まれます。  
マイナス金利導入には金利低下により銀行貸出を活性化させ成長率を高める狙いもあったと言われています。

+

### リスクプレミアム

将来の不確実性（リスク）に対して投資家が要求する上乗せの金利のことです。  
大量の国債などを日本銀行が買うことでリスク・プレミアムを押し下げていると言われています。

## 長期金利に影響を与える事象の例

### 景気・政治動向

**事象の例** 株価、日銀短観 (DI)、GDP、個人消費、設備投資、国債発行量、景気対策、選挙結果など。

**影響とその理由** 景気に関連するマクロ統計指標が改善すると、期待実質経済成長率などが上昇し、長期金利も上昇する傾向にあります。また、国債増発や政局混乱などから財政維持への懸念が生じれば、期待インフレ率やリスクプレミアムなどが上昇し、長期金利も上昇していくと考えられます。

### 金融政策・物価動向

**事象の例** 金融政策 (日銀金融政策決定会合、展望レポートほか)、消費者物価指数 (CPI) など。

**影響とその理由** これらの事象が期待インフレ率などの上昇につながる兆候を示し、金融引き締め予測が高まれば長期金利は上昇していくと考えられます。

### 海外要因

**事象の例** 為替相場、経常収支、国際情勢 (主に米国・EU) など。

**影響とその理由** 経常収支の黒字拡大は円高を招き、円高は輸出企業の不振から期待実質経済成長率などの低下につながると考えられます。国際化が進むにつれ、海外要因の影響は増加傾向にあります。

## 直近の金利動向

- 日本銀行は、平成25年4月に「異次元緩和 (量的・質的金融緩和)」を始めましたが、平成28年1月末には「マイナス金利」の導入を発表しました。
- これらの結果、イールドカーブ\*はかつてない水準にまで引き下げられ、またフラット化が進んでいます。

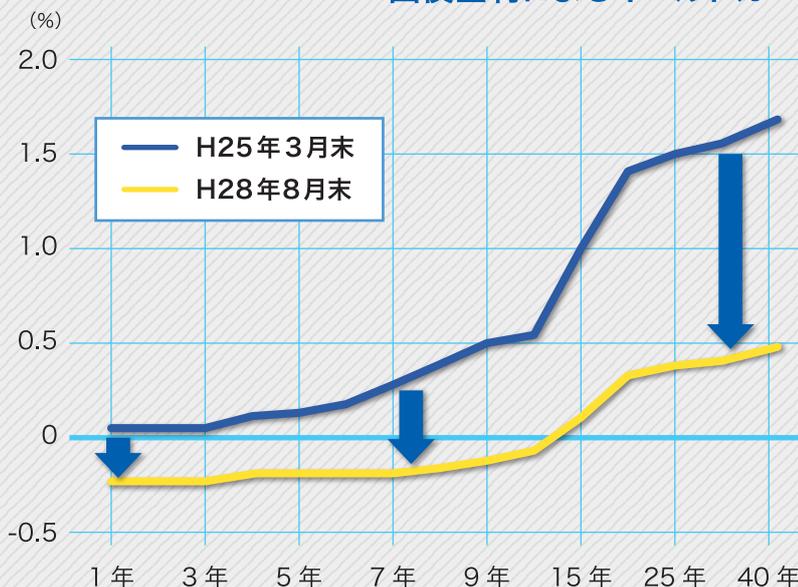
\*イールドカーブとは、期間と金利水準 (利回り) の関係をグラフ化した曲線のことです。

## 国債金利の状況 (平成25年3月末 / 平成28年3月末)

(単位: %)

基準日	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	15年	20年	25年	30年	40年
H25年3月末	0.056	0.057	0.066	0.107	0.131	0.184	0.282	0.395	0.491	0.564	1.016	1.406	1.499	1.555	1.669
H28年8月末	-0.220	-0.197	-0.195	-0.185	-0.180	-0.184	-0.186	-0.145	-0.108	-0.058	0.114	0.334	0.386	0.410	0.479

## 国債金利によるイールドカーブの推移



- 異次元緩和開始直前の平成25年3月末と比べると、平成28年8月末では全期間にわたって金利が低下し、期間が10年超の金利までマイナスになっています。また、低下の度合いについては期間の長いところほど大きいものとなっています。
- 流通市場で日本銀行が大量に国債を買っているため、供給が不足しがちであることに加え、プラスの利回りを求める投資家が短期債のかわりに長期債を買わざるを得なくなったことがこの動きに影響していると思われます。

財務省HP 国債金利情報  
[http://www.mof.go.jp/jgbs/reference/interest\\_rate/](http://www.mof.go.jp/jgbs/reference/interest_rate/) より加工して作成

融資部融資管理課 中村 信 山口県萩市から派遣

機構に来て2年目になります。融資管理課では、普通債の貸付けに関する事務を中心に担当しています。この他にも昨年度は、地方支援部での業務にも携わることができ、大変貴重な経験をさせていただいていると感じています。

プライベートもプロ野球観戦、富士登山やツーリングに出かけ、行く先々でラーメン屋巡りをするなど充実した日々です。また、定期的に機構の方々と皇居ランや卓球をするなど運動も取り入れるようにしています。

こちらでの生活を楽みつつ、機構で学んだことや経験したことを派遣元に帰って役立てられるよう努力していきたいです。



私の地元山口県萩市は、高杉晋作や木戸孝允といった明治維新で活躍した幕末の志士を数多く輩出した地であり、昨年7月にはそれらに縁の施設などが世界文化遺産に認定されました。

写真はそれらのうち、江戸時代の古地図が今でも使える城下町と、吉田松陰の私塾である「松下村塾」です。市内には、この他にも萩城跡や反射炉など見応えのある歴史的建造物やまち並みが数多く現存しています。

また、新鮮な魚介類、特産品の夏みかんなどの美味しい食べ物や萩焼、萩ガラスといったおすすめの名産品もありますので、ぜひ一度萩市へお越しください!

融資部融資管理課 池田 真司 新潟県聖籠町から派遣



聖籠町から機構に来て2年目になります。融資管理課では貸付審査を担当しております。

東京暮らしは初めてでしたが、満員電車も2週間ほどで慣れ、今は同じく地方から出てきた同僚たちと仕事終わりに飲みに行くのが楽しみです。飲み会の都度、様々な人と様々な話ができるので、人脈も広がり、視野も広がりと、貴重な経験を積んでいるなと感じています。

仕事においても、国、地方自治体、金融機関等、様々なバックボーンを持った方々の仕事の進め方を見て、日々いい刺激をもらっています。派遣元に戻っても、この2年間の経験を活かして頑張りたいと思います。

聖籠町は新潟市の東、日本海に面した人口1.4万人ほどの小さな町ですが、火力発電所や工業地帯があり、不交付団体を維持しております。

新潟県というとお米のイメージが強いですが、聖籠町はさくらんぼやぶどうといった果物が有名で、観光農園のほか、海水浴、ゴルフといった自然を生かしたアクティビティを楽しむことができます。

新潟にお越しの際は是非聖籠町のさくらんぼ、ぶどうをご賞味ください!



## 融資部融資課 益満 麻衣 鹿児島県鹿児島市から派遣

融資課では地方公共団体への貸付業務を行っており、その中で貸付見込や貸付計画の策定等を担当しています。これまで全く経験したことのない業務に苦勞することもあります。周りの方々に助けて頂きながら、貴重な経験をさせていただいております。

プライベートにおいても東京という地の利を活かし、これまで訪れたことのなかった関東近郊の観光地や東北、北陸地方へ出かけたり、車に代わる交通手段として調達したロードバイクで遠出してみたりと楽しく過ごしています。

派遣期間も残すところあと数ヶ月となりましたが、少しでも多くのことを吸収できるようにがんばりたいと思います。



旧集成館機械工場(現、尚古集成館)



旧鹿児島紡績所技師館(異人館)

派遣元の鹿児島市は錦江湾に面し、市内のどこからでも雄大な桜島を望むことができる魅力的な景観をもつところ。市内には約270(県庁所在地ではNo.1の数を誇る)の温泉があり、いたるところで気軽に温泉に入ることができます。さらには黒豚、さつま揚げ、きびなご、焼酎などなど美味しいものも豊富です!

昨年7月には鹿児島市の旧集成館機械工場や旧鹿児島紡績所技師館等を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録され、ますます盛り上がりを見せている鹿児島市へいっどおじゃったもんせ!

## 編集後記

JFM だより第19号をお届けします。今号の発行にあたり、ご協力いただいた皆さまに改めて深く感謝申し上げます。

今号の「融資の実」の取材では北海道東川町を訪れました。北海道は夏にも関わらずとても涼しく、最寄りの旭川空港に降り立った瞬間心地良い風が身を包んでくれました!取材日の東京の最高気温は今年最高の37.7度。職場に戻ったときに回りから冷ややかな目で見られたような気がしました。

東川町は「写真の町」宣言をし、写真写りの良い風景や生活づくりを奨励しているとお聞きました。私自身写真を撮ることが大好きなので、次はプライベートで「写真の町」を訪れ、ゆっくりと町内を散策し、マイカメラで素敵な風景等を撮影したいところです。(齊勝)

## 機構からのお知らせ

## 派遣職員を募集しています

機構では、全国の地方公共団体から派遣された多くの職員が活躍しています。

機構と一緒に働く職員を募集しています。

派遣職員が従事する主な業務は、貸付業務、資金調達業務、地方支援業務です。

派遣職員向けに充実した研修制度があります（地方財政と金融に関する研修、資金調達及び資金運用にかかわる金融知識の習得を目指す宿泊型研修等）。

## ご連絡先

この派遣は、地方三団体（全国知事会、全国市長会、全国町村会）の斡旋により実施しておりますので、お問い合わせにつきましては、**各事務局**又は**地方公共団体金融機構経営企画部秘書役室**（電話：03-3539-2629）へお願いします。

## 写真募集中 ▶



機構では、広報誌の表紙や、ホームページのトップページに掲載する写真を募集しています。

## 機構に対するご意見をお寄せください ▶



「融資の実」、「がんばる公営競技」のコーナーにつきまして、皆様からの記事募集を行っています。また、他のコーナーにつきましても、掲載希望や内容に関するご質問がありましたらお寄せください。

## ご連絡先

経営企画部企画課広報担当  
電話：03-3539-2674  
mail: info@jfm.go.jp

私  
たちも

## JFM債買ってます！

音更町では、これまで定期預金や短期債券等で基金を運用していましたが、低金利政策の影響により、運用益が見込めなくなり、昨年度から、安全で利回りの高い、JFM債を運用対象としているところです。

本町は、北海道の広大な十勝平野の中心部に位置し、町村の中では全道一の人口を有する活気に満ちたまちです。基幹産業は農業で、国内有数の生産高を誇る小麦・大豆・小豆・馬鈴しょなど、数々の農産物を生み出す豊かな大地と、北海道遺産に選定された世界でも珍しい「モール温泉」が湧き出す十勝川温泉があります。豊かな自然環境と都市の魅力を活かし、町民と協働のまちづくりに取り組んでいます。

こうした取組みを支える財政基盤の強化に、JFM債の運用益を活用して参ります。



## 北海道音更町

企画財政部財政課  
入宇田さん